



電車でバスでリニモで
見知らぬ街を
はじめて降りた駅を
きつと強くなると
きつと勝ると
そう信じて
アウェイで戦ってきた
決してすべてが
満足できる
結果ばかりではなかった
一勝もできず
悔しくて
悲しくて
そんな駅への道だった
その思いのたびに
こう自分に
言い聞かせてきた
いつかきつと
いつか必ず
残された時間は
あと五十日
この積み重ねのゴールは
きつと笑顔が
待っていると
そう信じての歩み

